

一般質問

町政全般にわたって7名の議員から執行部の施策をたじた

一回目の質問及び答弁を掲載しました。主な質問並びに答弁の要旨は、次の通りです。

平成二十五年度の財源確保は。

町長：国の予算次第で厳しい状況。



今井吉男議員

質問 平成二十五年度予算編成にあたり、町経済活性化に向けた財源確保は。

答弁 町長：国が負担する社会保障経費の増大は止めようがなく、地方交付税等も厳しい調整が予想され厳しい状況にある。

質問 財源確保に取り組み、平成二十五年度も町総合振興計画が計画通り実施出来るのか。

答弁 町長：国・県からの交付金、補助金の財源確保に努め、計画を十分尊重した上で、予算編成に取り組んでいる。

質問 現在五%の消費税が平成二十六年四月

に八%、さらに平成二十七年十月に十%に引き上げられる。物価高の離島では消費税も割高になるので、消費税の負担軽減を国・県に強く要望できないか。

答弁 町長：離島情勢懇談会で毎年度「離島における消費税並びに揮発油税等の軽減措置」の要望をしている。今後とも軽減措置の要望活動を行っていきます。

質問 本土では格安航空で、安価な航空運賃が実現、次期奄振予算に生活路線である離島航空運賃を引き下げる方策は図れないか。

答弁 町長：奄美地域離島航路協議会等でも要望書等が提出されており、航路も含めた運賃軽減を図って行きます。

質問 台風や病害虫被害葉タバコの収量は過去最低

を記録、農業立町として、今後の農業振興をいかに図るのか。

答弁 町長：今後、農業発展の基盤となる事業を導き、農業インフラの整備を着実に進行させ、農業所得向上と魅力ある農業を構築し、活力ある知名町の実現に努めます。

質問 町育苗センターの施設を活用、「えらぶ特産品加工場」整備事業で約一億円掛け、機械整備工事が開始される、来年度から「シマグワ」の加工製造・販売され、新たな産業と雇用が生れ、町の活性化が期待される。桑葉に限定せず、バレイシヨヤゴリーヤ等の加工・販売は出来な

答弁 町長：現在、桑を栽培している農家を中心にした生産組合設立と加工場運営に関する細部を詰めているところです。また、販路確保についてのノウハウも構築されつつあります。その他の品目の検討については、本事業を軌道に乗せた後の取り組みと考

えています。

質問 公債発行特例法案成立の遅れで、地方交付税の本町への交付遅延に伴い、資金繰りが悪化、一時金借入れによる金利負担が増えたのでは。また、来年度の地方交付税の見通しは。

答弁 町長：公債発行特例法案成立の遅れは、資金繰りの悪化は避けられず、一時借入れを実施、利息負担が二十四万三千円発生した。平成二十五年度の地方交付税の見通しは、前年度比八十万円減の二十四億一千三百万円を見込んでいます。



えらぶ特産品加工場建設予定地（町育苗センター）